市の理念
1 つねに市民の立場に立って、人間優先の施策を進める。
2 改善と創造に徹して、躍動する施策を進める。
3 的確な展望に基づいて、未来につながる施策を進める。
4 自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める。

第195号
55年11月

広報やわた

発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL (075) 983—1111
編集 市民部広報課

市民の理念
1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
3 新しい社会の創造をめざして、連帯の行動を強める。
4 責任と協調の市民生活を求めて、つねに前進をはかる。

暮らしのなかに 市民文化の花開く

スポーツ・読書・芸術—秋たけなわの十一月二、三日〝第八回八幡市民文化祭〟が開かれました。会場の男山公民館では力作や苦心の作が展示され、また第三小学校と八寿園ではグループや団体などが、日ごろからの練習の成果を披露されていました。児童からお年寄りまで多数の市民が参加し、年々広がりをみせる文化祭、文化と市民生活の解け合いを大切にしたいものです。（写真—男山公民館での展示風景）

一般会計 3億1千万円を追加

昭和五十五年八幡市議会第三回定例会が、九月二十五日から十月十五日まで開かれました。同議会では、昭和五十五年度の一般会計補正予算案が市長から提案され満場一致で可決されました。また、（仮称）男山地区児童センター（二ヵ所）・（仮称）八幡東小学校及び同附属幼稚園・（仮称）志水地区公民館の各新築工事請負契約の議案が市長から提案され、それぞれ賛成多数で可決されました。また、昭和五十四年度の八幡市一般会計や水道事業会計などの決算の認定については、決算特別委員会に付託され、関会中審議されることになりました。（男山地区児童センターや八幡東小学校などの図面は、二面に掲載しています。）

この議会で議決された五十五年度の一般会計の補正予算額は三億一千三百三十九万一千円で、補正後の歳入歳出の総額は九十六億四千二百四十四万一千円になりました。補正の主な内容は、次のとおりです。

緑化推進をはかる

総合文化センターの実施設計費に四千五百三十万円を追加しました。同センターは文化会館と中央公民館の複合施設で、総面積は九千四百三十九・九平方メートルです。そのほかに、立体の駐車ビル三千九百九十六・六平方メートルがあります。本年度で設計を完了し、五十六・五十七の両年度の継続事業として建設する計画です。歳入に国庫補助金一千八百万円があります。

美濃山地域の計画的な開発整備をはかるために、五百六十万円を計上しました。同地区は、市街化区域にもかかわらず未整備のため五十六年度にまたがる継続事業として、具体的な土地利用計画とそれに伴う公共施設の整備計画を策定するもので、本年度は現況の調査と分析を行います。歳入に府補助金二百七十九万円があります。

生活環境の向上をはかるために地域の緑化事業に対する助成額を二百五十万円追加しました。男山地区に計画的な植樹を行います。

同和問題を啓発

同和問題の啓発活動を強化するため、啓発費に六十万円を追加しました。京都府が、同和問題についての啓発を進めるため補助制度を設けられたため、これを活用するものです。歳入に府補助金三十万円があります。

地域集会所の整備を促進するために、その建築の助成金として三百四十四万円を計上しました。園地区集会所の改築に対し、事業費の三分の二を助成するもので、歳入に府補助金百五十万円があります。また、戸津地区の集会所補修に、事業費の二分の一の助成金を合わせて計上しています。

京都府立八幡高校の創立十周年を記念して、図書などを寄贈します。予算に百万円を計上しました。

福祉に役立ててほしいと、伏見信用金庫八幡支店などから合わせて六十七万四千円の浄財をいただきました。ありがとうございました。これは福祉基金に積立てます。これにより、同基金の総額は一千三百七十九万円になりました。公害防止対策費に六十六万円を追加しました。合成洗剤による環境の汚染や人体への害を防止するため、行政内部における有害洗剤の使用禁止をより徹底するとともに、この問題について、垂れ幕やビラなどで広く市民に呼びかけます。また、関係業者の方々にもこの問題について理解を深めていただくよう要請します。

市の現勢（55年10月末）

人口	65,169人
男	32,663人
女	32,506人
世帯	19,484世帯
面積	23.51km²

共同集出荷場の新設や農機具購入に助成

野菜の特産地としてその基盤整備をはかるため、東岩田農家実行組合が実施する共同集出荷場の新設に事業費の十分の六を助成します。予算に四百四十八万二千円を計上しています。歳入に府補助金二百九十八万八千円があります。

西岩田転作組合が進めている麦の収穫の共同化に助成します。コンバインの購入に対し、事業費の十分の六にあたる九十六万円を計上しました。歳入に府補助金八十万円があります。

美濃山本郷地区にある畑地かんがい揚水機の改良に助成します。予算に、事業費の二分の一の額百五十万円を計上しています。

公園に防球ネットや藤棚を設置する

くすのき公園ときつき公園に、高さ十メートルの防球ネットを一部に設けます。また、児童公園に藤棚などを設けます。これらの都市公園管理費に、合わせて六百九十五万円を追加しました。

市道の路面や側溝の補修や清掃などに要する事業費に、一千万円を追加しました。日ごろ市民が利用する暮らしの道を整備するものです。

小集落地区改良事業の五十七年度以降における改良計画の策定費に、一千八百八十二万七千円を計上しました。道路や住宅などの現状調査と整備計画を作成するものです。歳入に国庫補助金一千二百五十五万円があります。

消火栓六基を増設するために、消防施設費に二百十二万六千円を追加しました。

小・中学校の施設整備に一千百四十万円

小学校では、八小・第二小・第三小・中央小の施設整備をするほか、五校で臨学機を設置します。また、第二小・第五小で理科教育設備の充実をはかります。中学校では、全校で施設整備と理科教育設備の充実をはかります。これらの経費に合わせて一千百四十六万六千円を追加しています。歳入に国庫補助金八十一万円があります。

図書館の管理運営費に一千四百八十三万三千円を計上しました。管理運営に要する経費のほか、図書の増備や備品購入に充てるものです。

住宅新築資金貸付事業特別会計を補正

同特別会計の補正予算額は一千四百万円で、補正後の歳入歳出予算額は一億五千六百七十三万九千円になりました。今回の補正は、住宅新築資金貸付金四件分を計上したもので、当初と合わせて十四件分六千四百万円になりました。

市長の手帳から

十月二十四日のおひる前、二人の市民の方がお見えになった。一人は車イスで、一人は松葉ツエで、ともに同足の不自由な身でありながら、人の助けを借りることなく、市役所の二階までおいでになった。

車イスの男性は八幡今田の家村敏雄さん、松葉ツエの女性は上奈良奈良里の狩野治代さんで、二人は、二十一日から二十三日まで、千葉市で開かれた全国身体障害者技能競技大会（アビリンピック）に出場され、その報告にお見えになったのである。

家村さんは、機械製図の部で全国一位となり、来年開かれる国際大会に日本代表として参加できる期待に瞳を輝やかせておられたし、狩野さんは、入賞は逸したものの、女性の特技である和裁の部の府代表として出場できた感激を一言一句にめて語られた。

× × ×

機械製図 全国一の賞受けし車イスの人の 瞳は澄める

ひたすらに 和裁に生きて松葉ツエの 女（ひと）とは見えず さわやかな笑（えみ）

私が心をうたれたのは、二人とも足の機能を欠いた身でありながら、たっしゃな者に勝るとも劣らぬ技能を身につけて、それを生業として、三十歳台のいのちの盛りを文字どおり独立独歩されていることである。そして、おそらくそのせいであろう大きなハンディキャップを負う身でありながら、全く暗さの感じられぬことである。

そして、二人がこうまでこられるまでには、人には言えぬ苦しみや悩みが山ほどあったにちがいないなどと思い、その苦悩をかしても軽くするために、これまで私たちは、いったい何をなしたのだろうかという反省の念に、はげしく自らを責められたのである。

来年は〝国際障害者年〟であり、そのテーマは〝完全参加と平等〟である。（八幡市長 西村正男）

有リン合成洗剤 市民ぐるみで運動の輪を 11月1日から啓発に取組む

市では、有リン合成洗剤に使わない運動を推進するために、その要綱を定め十一月一日から実施しています。有リン合成洗剤を使用すると、リンにより河川や廃棄用水などが徐々に汚染され、生活環境の破壊につながります。そのため、市はこの運動を全市的に展開するとともに、国や府へ石けん等リンを含まない洗剤の安定供給体制の確立を要請していきます。

有リン合成洗剤を使わない運動は、滋賀県を始め多くの自治体で進められており、また住民運動も活発に展開されています。

市でも、市の基本構想に定める〝緑ゆたかな文化の都市〟づくりのため、環境保全の立場からこの十一月より有リン合成洗剤を使わない運動を展開しています。九月二十五日から開かれた昭和五十五年八幡市議会第三回定例会で、関係予算が可決されていますので、当面、垂れ幕やビラにより市民への啓発を図っていきます。

有リン合成洗剤を使わない運動は、市の合成洗剤対策推進要綱に基づき進めていますが、この要綱の内容は、次のとおりです。

〈八幡市合成洗剤対策推進要綱〉

第一 趣旨

この要綱は、八幡市市民憲章に示す清らかな水を守る精神に立脚し、八幡市として当面推進を図るべき合成洗剤対策に関して必要な事項を定める。

第二 推進目標

石けん等リンを含まない洗剤の使用の推進を図るとともに、市民の環境保全に関する意識の高揚に努める。

第三 実施事項

市、市民及び製造・販売事業者は、前項の目標を達成するため、各々の分野における自己の責務を自覚し、相互の連携を図りながら次の事項を推進する。

一 市の行う事項

① 市の施設及び市の行事においては、石けんを使用する。事情により直ちに石けんを使用できない場合は、リンを含まない洗剤を使用することとし、速やかに石けんを使用し得るよう問題点の解決に努める。

② 市職員は、家庭、地域等において、石けん等リンを含まない洗剤が使用されるように努める。

③ 市民に対して、洗剤及び洗たくに関する正しい情報を提供し、石けん等リンを含まない洗剤を使用するよう啓発を行う。

④ 事業所・寮等の大口使用者に対し、石けん等リンを含まない洗剤の使用を推進するよう要請する。

⑤ 洗剤の製造・販売事業者に対し、石けん等リンを含まない洗剤が安定して供給されるよう要請する。

⑥ 国及び府に対し、石けん等リンを含まない洗剤の安定供給体制の確立と洗剤及び洗たくに関する情報の提供を要望する。

二 市民の行う事項

① 石けん等リンを含まない洗剤への転換に努める。

② 洗剤の計量使用を行い、その減量化に努める。

③ 石けん等リンを含まない洗剤使用の運動に自主的に参加するとともに、使用体験の交流を図る。

三 販売事業者の行う事項

① 石けん等リンを含まない洗剤の安定した供給を図る。

② 洗剤についての正しい情報の提供と石けん等リンを含まない洗剤の使用についての啓発に努める。

野山を歩こう ハイキング参加者募集

行楽のシーズンを迎え、市民の健康と相互の親睦をかね〝市民秋季ハイキング〟を、次の要領で行います。

▽日時 十一月二十四日（祝日）午前八時三十分市役所前集合

▽行先 井手町史跡めぐりと山城多賀フルーツラインで柿・ミカン狩り

▽参加費 大人千二百円 小人六百円（小学生以下）フルーツラインの入園料を含む。

▽定員 百二十人（定員になり次第締切）

▽申込方法 ハガキに住所・氏名・電話番号・大人人の別・秋季ハイキング参加を記入のうえ、八幡市八幡園内七五市役所教育委員会社会教育課へ申込みください。

▽申込期日 十一月十五日（土）消印のあるものまで有効です。

税金なんでも相談

11月11日から17日までは、「税を知る週間」です。

市と府、国では、この週間の行事の一つとして「税金なんでも相談」を行います。土地、建物の売買、相続税や贈与税などについて知っておきたい節税の知識や国税、地方税などについての悩みごとなど、何んでもご相談に応じますので、お気軽にお越しください。日時と場所は、下記のとおりです。また、八幡市役所以外の場所でも相談を受けられます。

▷11月11日（火） 宇治消防署大議室 午前10時～午後4時

▷11月12日（水） 城陽市役所市民相談コーナー 午前10時～午後4時

▷11月13日（木） 八幡市役所1階会議室 午前10時～午後3時

▷11月14日（金） 田辺町役場会議室 午前10時～午後3時

▷11月17日（月） 木津町役場会議室 午前10時～午後3時

調停相談

農事・土地・建物・交通事故・公害・金銭・その他民事一般の問題でお困りの方は、下記により調停相談を行いますので、お気軽にご利用ください。

この調停相談を受けたい方は、当日直接市役所へお越しください。

▷日時 11月21日（金）午前10時～午後3時

▷場所 市役所1階第2会議室

〈お問い合わせ〉

木津簡易裁判所内木津調停協会 ☎07747（2）0155

相談は無料で、秘密は固く守られます

主催 木津調停協会

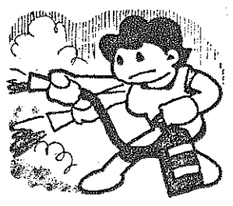
市民と消防のつどい

市消防本部では、秋の火災予防運動の一環として、市民の火災予防に対する意識の高揚をはかるために〝市民と消防のつどい〟を催します。日時・場所・催し物は、次のとおりです。

▽日時 昭和五十五年十一月十六日（日）午後一時～午後四時 雨天決行

▽場所 有都小学校グラウンド

▽催し物 救助訓練・ポンプ操法・防火パネル掲出・ドラエモン人形掲出・金魚すくい・消防車両の展示・写生大会・消防防災相談コーナー・電気器具無料点検・らくがき板の掲出・防火もちつき大会・チビッ子遊動会・消火実験



児童センター・小学校 幼稚園・公民館を建設

昭和五十五年八幡市議会第三回定例会で可決された契約四件の内容は、次のとおりです。また、各施設の図面を下にまとめて掲載しています。

(仮称)男山南部地区児童センター

建設の場所は南センターの隣接地で、男山竹園二番地六です。施設の規模は、鉄筋平屋建て、六百二十四平方㍍あり、集会所や体育室(兼遊戯室)、図書室などを設けます。事業費は一億一千四百万円で、工期は昭和五十六年三月三十一日までです。

(仮称)男山北部地区児童センター

建設の場所はさつき公園の東側で、男山指月三番地十一です。施設の規模は、鉄筋平屋建て、五百四十四平方㍍あり、男山開部地区児童センターと同様に集会所や体育室(兼遊戯室)、図書室などを設けます。事業費は九千六百五十万円で、工期は昭和五十六年三月三十一日までです。

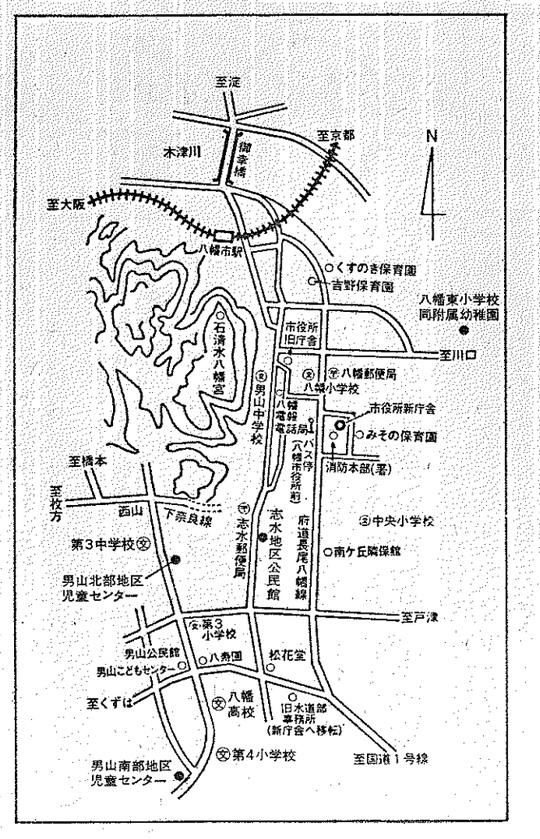
(仮称)八幡東小学校・(仮称)八幡東小学校附属幼稚園

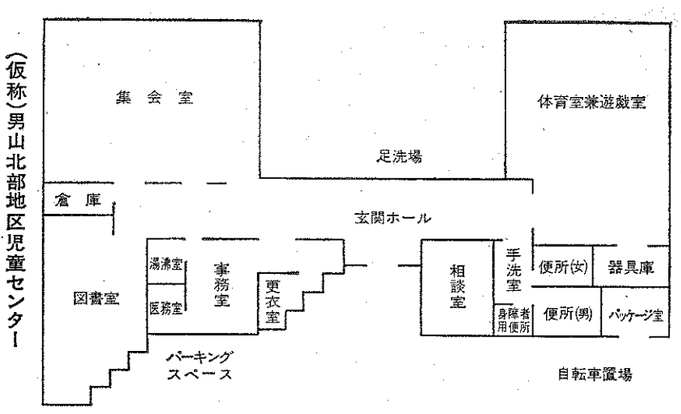
同小学校は、八幡小学校の児童数の増加に伴いその分離校として建設するもので、建設の場所は八幡青葉浦五番地です。施設の規模は鉄筋コンクリート造り三階建て四千三百二十七平方㍍です。一階には普通教室五教室、障害児教室のほか保健室、給食室、職員室などを、二階には普通教室七教室と理科室一室・家庭科室の特別教室などを、また三階には普通教室八教室と音楽室二室・図工室・図書室の特別教室などを設けます。この校舎のほか、八百平方㍍の体育館とプール(低学年用と二十五㍍・七コースの高学年用)を設けます。また、同小学校に併設する幼稚園の規模は、鉄筋コンクリート造り二階建て六百二十一平方㍍です。一階には保育室二室、保健室、職員室などを、また二階には保育室遊戯室などを設けます。

事業費は、小学校と幼稚園合わせて十億五千万円で、工期は昭和五十六年三月三十一日までです。

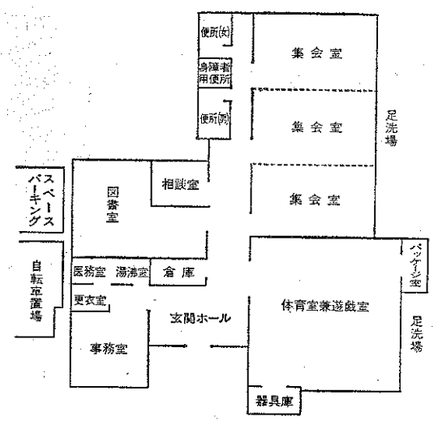
(仮称)志水地区公民館

建設の場所は、八幡岸本三十五番地の四です。施設の規模は、鉄筋二階建て、延五百平方㍍です。一階には和室三室と資料室兼会議室のほか事務室、宿直室などを、また二階には会議室などを設けます。事業費は九千百万円で、工期は昭和五十六年三月三十一日までです。

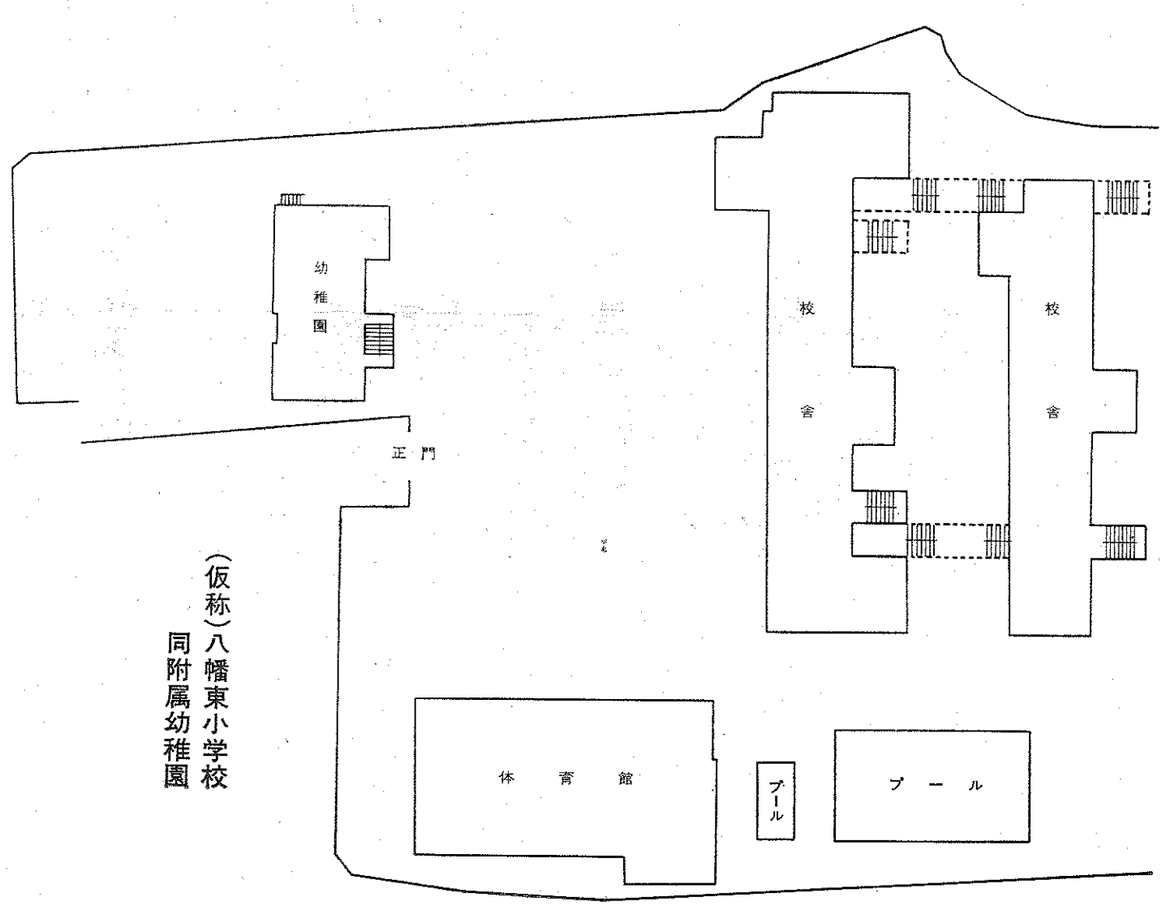




(仮称)男山北部地区児童センター



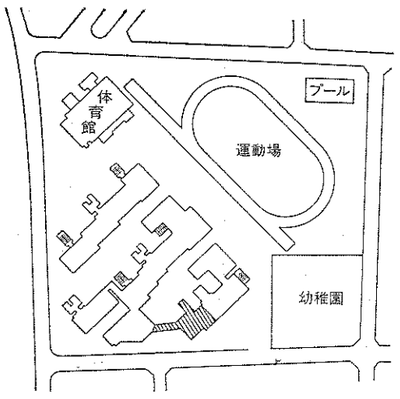
(仮称)男山南部地区児童センター



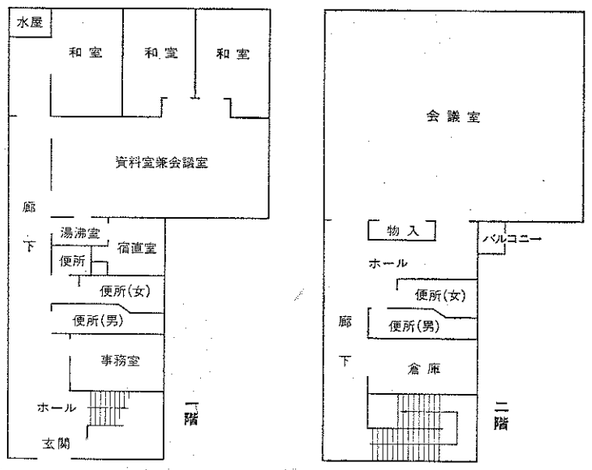
(仮称)八幡東小学校 同附属幼稚園

第四小学校で普通教室6教室を増築

八幡第四小学校の生徒数の増加に伴い、同校校舎の増築工事を行っています。この工事は、日本住宅公団の立替建設により、三階建校舎(普通教室六)と屋外階段、渡り廊下を増設する場所は、左図に示す斜線部分で、工期は五十六年三月三十一日までです。また、事業費は七千八百万円です。



(仮称)志水地区公民館



昭和五十四年度…全会計で黒字決算
前進をみた福祉の拡充と施設の建設

一般会計

昭和五十五年八幡市議会第三回定例会に、市長から昭和五十四年度八幡市一般会計並びに特別会計歳入歳出決算書と昭和五十四年度八幡市農業共済事業特別会計決算書が提出されました。同議会では決算特別委員会を設け、十二月の定例市議会までの間、継続して審議します。

この決算書とともに、監査委員からそれぞれその審査意見が報告されました。その全文は、次のとおりです。

▽総　説

1　財政の推移

昭和五十四年度における一般会計決算額は歳入総額九十一億六千七百二十四万一千円、歳出総額八十八億八千三百三十五万七千円で前年度に比較して歳入で一・八㌫歳出で三・二㌫それぞれ減少している。しかし、この現象は市制施行に伴う一連の事業が集中して五十三年度に行われたために、次のとおりの伸び率となったもので、さらに五十四年度は国の財政ひっ迫のため、一定事業の繰延施行により一層減速を示したものと思われる。このことは、本八幡市のような人口急増都市であり、その上特殊財源に恵まれず、経常経費が全歳出の六二・九㌫を占める財政構造の中で、今後とも一層効率的な予算の執行に留意し、健全財政の維持に努める必要が痛感される。

区分／年度	歳入 伸び率	歳出 伸び率
昭和52年度	5.7%	5.6%
昭和53年度	19.8	20.0
昭和54年度	△ 1.8	△ 3.2

2　財政収支の状況

昭和五十四年度の決算状況は、前述のように歳入総額九十一億六千七百二十四万一千円、歳出総額八十八億八千三百三十五万七千円で、差引二億八千三百八十八万四千円の剰余金を生じた。このうち翌年度に繰越すべき財源として一億二千八百六十三万七千円を差引いた実質収支は、一億六千五百二十四万七千円である。投資的事業を積極的に行いながら、年々黒字を維持していることは、八幡市が収支の均衡に留意し、適正な財政計画のもとに財政運営を行っていたと認められる。

3　財政運営の状況

財政運営は、一般的にみて健全であり、適切である。総括的にみて、歳入の収入率は九八・五㌫でほとんど前年なみであり、収入の照合の上審査を行ったが、その結果計数に誤りなく、実際の収支は収支命令に符合して実行され、かつその収支は法令及び八幡市条例に基づき施行されていることを確認した。なお歳入・歳出差引残高は、出納閉鎖期日における各金融機関の現在高に一致していることを認めた。

5　決算の提出時期

例年十二月の定例市議会に提出されていたが、本年度から九月定例市議会に提出されることになり収入役より市長に対する決算提出の時期並びに市長より監査委員に付する時期が出納閉鎖後日数のないために相当に制約を受けるので今後このようなことが継続するならば、各課の決算整理事務を可急的速かに行い、収入後の決算整理事務が迅速に行われ、少なくとも八月上旬には調整を終るよう一層の努力を望むものである。

▽各　説

1　歳入

昭和五十四年度一般会計歳入決算額は、予算総額百一億二千六百五十二億六千七百四十四万円に対し、収入済額九十一億六千七百二十四万一千円で収入率は九〇・五㌫、九億五千九百六十万円(二五・七㌫)、その他十五億八千三百六十三万七千円(一七・三㌫)となっている。歳出のうち弾力性に乏しい義務的性格の強い経費である人件費、扶助費及び公債費は、一般に義務的経費といわれるが、このような義務的経費は四十五億八千三十五万三千円で、歳出総額の五〇・五㌫に達している。

区分	市税	税外収入
予算額	千円 2,550,243	千円 7,576,286
調定額	千円 2,692,756	千円 6,615,032
収入済額	千円 2,561,018	千円 6,606,223
対予算収入率	100.4%	87.2%
対調定収入率	95.1%	99.9%

財政運営の状況の中でも述べたことであるが、市税収入は予算現額二十五億五千二十四万三千円に対し、調定額二十六億九千二百七十五万六千円、収入済額二十五億六千百一万八千円、収入未済額一億三千百七十三万八千円、収入率は九九・五㌫であるが、予算額に対しては一千七十七万五千円の増額である。この主な原因は、自然増とみなされるものであるが、一方関係職員の努力のあとも認められる。しかしながら、一億三千百七十三万八千円の未収入額を生じたことは、この額が今年度未収入額の九三・七㌫を占めるという実態で、さらに納税思想の普及に対する努力、督促徴納処分の適切な処置に意を用い、費間いわれる正直者が馬鹿を見るというようなことのないように一層の精進を望むものである。税外収入のうちで予算現額に対する減額の大きいものは、国庫支出金四億六百九十一万一千円(七九・四㌫)、府支出金一千六百二十一万九千円(九五・一㌫)、財産収入一千六百三十八万二千円(九二・三㌫)、市債四億七千八百三十万円(六七・六㌫)等で、結局八七・二㌫の執行率となったが、この主原因は事業の繰延施行であり、それを加味した調定額に対する執行率は九九・九㌫で、ほとんど完全に収納されたこととなっている。

2　歳出

昭和五十四年度一般会計歳出決算は、予算総額百一億二千六百五十二万九千円に対し、支出済額は八十八億八千三百三十五万七千円で、予算に対する執行率は八七・七㌫で、前年度九四・七㌫を大きく下廻っているが、このことは歳入の項で述べたとく事業の繰延施行が主原因で、翌年度繰越額が九億五十八万四千円で、これを含む執行率は九六・六㌫で、前年度九六・四㌫とほぼ同様の率を示している。執行率を各科目別に見るといずれも概ね順当な率を示しており、予算の編成及び補正が適切に行われたものと認められるただ、労働費の九〇・八㌫は経費節減によるものであり、商工費の八九・一㌫は中小企業金融対策費が予定より申込が少なかったため、土木費の八九・六㌫は用地買収を行わなかったためで、特に不当な点は認められない。

▽総　説

昭和五十四年度八幡市の特別会計は、五十四年度新設の福祉住宅整備資金貸付事業特別会計を含め七会計であるが、この歳入総額十九億八千八百三十二万六千円に対し、歳出総額十九億九百九十七万円で、差引残額七千八百三十五万六千円の黒字を生じているが、このうち一千百三十万円を翌年度に繰越し実質収支は六千七百万六千円である。

▽各　説

1　駐車場特別会計

予算総額七百二万一千円に対し七百三万一千円の収入を上げ、一般会計への繰出金を前年度比八・五㌫増の五百十万円を行い、初期の目的を達している。

2　公共下水道事業特別会計

予算総額六億一千二百九十三万六千円に対し収入済額は六億二百七十三万二千円で、対予算九八・七㌫、対調定額九九・二㌫の収入率を上げている。歳出は六億百七十三万八千円で九八・二㌫の執行率を示し、概ね順調に施行されたものと認められる。特に事業費において、木津川左岸流域関連公共下水道整備事業を補助事業分一億三千三百七十二万五千円、市費独自事業分九百八十一万円、合計一億四千三百五十三万円を実施しさらに二千万九千円で公共下水道計画を樹立する為相当多忙を極める執務の中で五十三年度の八五・二㌫であるが、この事業の設立趣旨に鑑み、一般会計に庄迫を加えないよう調定及び収入に十分意を用いられたい。

6　休日応急診療所特別会計

歳入のうち診療収入、使用料及び手数料の収入が八百六十一万二千円で歳入会八百十五円より多くなり、ようやく一人立ちできる百二十八万八千円の収入減である。

7　国民健康保険特別会計

① 事業勘定　歳入においては保険税等の自己財源が四億二千七百九十五万一千円(三七・八㌫)国庫補助金ほかの財源七億五百三十五万八千円(六二・二㌫)で、合計決算額は十一億三千三百三十万九千円となっており、予算額に対して二百八十二万七千円の増である。主な科目別に増減を見ると保険税は収入率八六・四㌫で予算に対し一千百六万五千円の増、国及び府の支出金が一千三百四十万四千円の減となっているが、いずれも前年度よりそれぞれ一四・七㌫、一二・八㌫の増となり、全体としては一三・五㌫の伸びを示している。なお、保険税の収入率が前述のごとく五十三年度の八六・一㌫を上廻ったことにより、一般会計よりの繰入金を前年度より四・〇㌫減の三千四百二十七万円にとどめていることは、関係職員の努力の結果と評価できる。歳出面では、保険給付費が十億二千四百八十二万円で前年度より一五・二㌫増加し、保険税との関係では保険税調定額の二・四七倍の給付を行ったことになっている。なお、歳入総額十一億三千三百三十万九千円、歳出総額十億六千九百二十七万円、差引残額一億三千三百二十三万円、繰越額二千二百九十三万円、実質収支額は四億六千百万円である。

② 診療所勘定　診療所を保健センター内に近代的設備をもって開設したことにより診療件数も七千二百六十一件を数え、収入においても予算額に対し九九・七㌫にあたる二千六百五十七万三千円を挙げ、五十三年度より四七・四㌫の増を示し、決算として歳入総額三千四十五万六千円、歳出総額三千四十六万二千円、繰越額三千四十五万六千円で実質収支額は六千円となっている。

特別会計

3　住宅新築資金等貸付事業特別会計

予算現額二億二千二百五十万一千円に対し歳入額は一億八千九百四十六万二千円で、収入率は対予算八五・二㌫、対調定八六㌫で、それぞれ五十三年度より〇・二㌫向上を示しているが、事業収入において三千七十三万七千円の未収を生じている。特に今年度は、事業収入において予算額五千二百三十四万一千円に対し調定額が繰上償還の関係で五九・七％増の八千三百六十万三千円となったため、この面での収入率が対予算百一㌫減率は五十三年度よりも三・七㌫の増となった。昨年度は公二九・四㌫ということで注目していた。今年度は貸付金の単価を引上げたことを含めて高校修学金延百五十六人百四十二万八千円、高校入学金二人十四万円、大学入学金十四人三百八十万円、総計五百十六万八千円の貸付を行い、上記の執行率となったものである。相応の成果を上げたものと認められる。なお、貸付金収入の未収金については増加の傾向にあるので、この事業の設立趣旨に鑑み、一般会計に庄迫を加えないよう調定及び収入に十分意を用いられたい。

6　休日応急診療所特別会計

歳入のうち診療収入、使用料及び手数料の収入が八百六十一万二千円で歳入会八百十五円より多くなり、ようやく一人立ちできる百二十八万八千円の収入減である。

7　国民健康保険特別会計

① 事業勘定　歳入においては保険税等の自己財源が四億二千七百九十五万一千円(三七・八㌫)国庫補助金ほかの財源七億五百三十五万八千円(六二・二㌫)で、合計決算額は十一億三千三百三十万九千円となっており、予算額に対して二百八十二万七千円の増である。主な科目別に増減を見ると保険税は収入率八六・四㌫で予算に対し一千百六万五千円の増、国及び府の支出金が一千三百四十万四千円の減となっているが、いずれも前年度よりそれぞれ一四・七㌫、一二・八㌫の増となり、全体としては一三・五㌫の伸びを示している。なお、保険税の収入率が前述のごとく五十三年度の八六・一㌫を上廻ったことにより、一般会計よりの繰入金を前年度より四・〇㌫減の三千四百二十七万円にとどめていることは、関係職員の努力の結果と評価できる。歳出面では、保険給付費が十億二千四百八十二万円で前年度より一五・二㌫増加し、保険税との関係では保険税調定額の二・四七倍の給付を行ったことになっている。なお、歳入総額十一億三千三百三十万九千円、歳出総額十億六千九百二十七万円、差引残額一億三千三百二十三万円、繰越額二千二百九十三万円、実質収支額は四億六千百万円である。

総括結論

一般会計及び特別会計を通して決算は黒字である。市制施行以来三年目を迎え人口急増に伴う諸施設を整え、福祉の面でも相応の前進を見ながらの成果であり、特筆に値するものと思う。しかしながら、五十五年度以降においては国から、五十五年度以降においては国の一千百五十九万千二百六十九円減の一千百五十九万千七百六十九円に対して予算額一千六百七十万二千円に対し五百十万九千二百六十九円の収入を上げ、一般会計への繰出金を前年度比八・五㌫増の五百十万円を行い、初期の目的を達している。

▽農業共済事業特別会計

昭和五十四年度八幡市農業共済事業特別会計決算に関する審査意見は、次のとおりである。

1　決算書について

農業共済事業は公営企業でないが、その性質上地方公営企業法の財務規定を適用し経理事務が行われ、決算についても企業会計方式により調製されており、計数数値については過誤なく、内容については収支と一致し、金額についても貸借対照表の預金額により確認を行った。

2　収益的収支について

五十四年度は、家畜共済勘定については勘きはなく、すべて米及び麦の農作物共済勘定と家畜勘定について調整されたもので、やや変則的ではあるが予算額及び決算額欄に各勘定科目を併記し、総合の欄を設けて収支を表わしている。このことにより、内容はよく分るが、仮算方式の帳簿と共に事業量が増加した場合には対応しきれなくなるのではないかと思われるので、今後検討願いたい。さて内容を見ると、農作物共済勘定においては、予算額一千六百七十万二千円に対し五百十万九千二百六十九円減であるが、なお前年度より三・九㌫も収入率をあげている。

なお、予算額は六百二十二万六千円であるが、このうち、三百五十万円を繰越明許費として翌年度に繰越している。

5　奨学金貸付事業特別会計

予算総額七百二十八万九千円に対し収入額五百二十二万一千円、支出額五百二十二万一千円で、執行率は七一・六㌫で、対前年度増減率は五十三年度よりも三・七㌫の増となった。昨年度は公二九・四㌫ということで注目していた。今年度は貸付金の単価を引上げたことを含めて高校修学金延百五十六人百四十二万八千円、高校入学金二人十四万円、大学入学金十四人三百八十万円、総計五百十六万八千円の貸付を行い、上記の執行率となったものである。相応の成果を上げたものと認められる。なお、貸付金収入の未収金については増加の傾向にあるので、この事業の設立趣旨に鑑み、一般会計に庄迫を加えないよう調定及び収入に十分意を用いられたい。

6　休日応急診療所特別会計

昭和五十五年八月二十五日

監査委員　工藤欣一

同　丸山文雄

× × ×

監査委員の意見は、全文掲載しました。

農業共済事業特別会計

3　賃借対照表について

資産は流動資産のみで、二千八十四万六百二十五円、負債は流動負債一千九十三万一千百三十三円、固定負債一万九千五百九十八円、合計一千六十四万七百三十一円。資本は剰余金一千八万三千二百七十三円、純利益二万六千六百二十一円、合計二千九万九千八百九十四円である。

なお、業務勘定に属する雑外財産は、資産四十九万一千五百六十七円、負債二十四万九百五十一円で、昭和四十七年四月一日に譲渡したもので、五十四年度には増減はない。

4　未収金について

未収金は年度末で一千八百二十円であるが、前年度より繰越の未収金のうち二万四千四百九十一円を固定化債権引当金として整理しているので、将来にわたりこれの回収には努力されることを希望する。

5　総括

農業の経営を少しでも安定させるための施策として、法の足らざる点を市独自の財政措置をとることにより、年々相応の成果をあげてきたところである。今年度より、経理方法が公営企業法の財務規定を適用するということでいろいろとなじみ難い点が出ているが、十分に研さんを積み、折角の制度を十分活用されるよう希望するものである。

昭和五十五年八月二十五日

監査委員　工藤欣一

同　丸山文雄

× × ×

監査委員の意見は、全文掲載しました。

おめでとうございます

出生

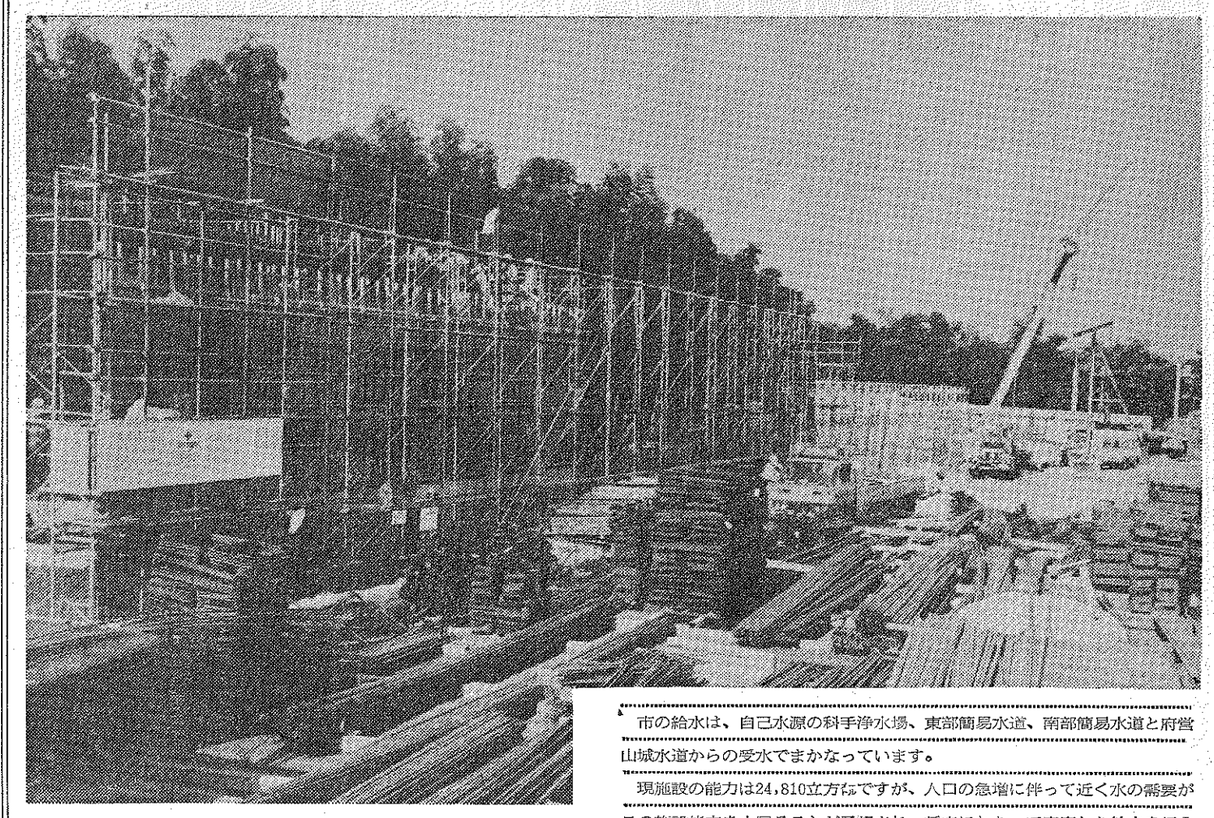
昭和55年9月届出分

区	本人	届出人
一区	福井美乃里	正純
一区	高原 香織	葵之
二区	渡辺 あや	明
竹園香呂	海田 愛	静
竹園香呂	松田 博人	順一
男山地区	前園 美月	俊彦
五区	石原 愛史	和雄
竹園香呂	内藤 将	信之
一区	松井 陽介	弘一
竹園香呂	服部 寧子	建生
男山地区	仲上 廣治	敏康
四区	岡本 太郎	力夫
美濃山区	吉川 友晴	清一
下区	宮原 弘樹	正則
男山地区	飯田 基	術
六区	山岡 弓恵	勇
石城弓岡	豊田 貴徳	徳雄
内里区	仲 健太郎	清次
一区	中島 昭子	正美
竹園香呂	三好 宏剛	悟
男山地区	塩崎 雄一	秀樹
四区	福永 里美	和孝
男山地区	小澤 頃希	博
竹園香呂	吉村のどか	知行
男山地区	中川美奈子	清
男山地区	山本 真哉	健博
男山地区	羽原 貴恵	七星
竹園香呂	田中 健二	信星
竹園香呂	十川 祐一	康美
五区	富田恵人夢	明男
一区	東 純司	健一
男山地区	植松由里子	利雄
金振区	市川 真弥	卓男
六区	森本栄美子	義夫
石城弓岡	田口 陽介	敏美
二区	湯澤 公規	雅治
吉井松里	山本ゆかり	邦彦
下区	毛利絵美子	順三
中区	菊岡麻衣子	節夫
竹園香呂	篠山 典人	典彦
五区	狩野明香理	明茂
五区	狩野星理香	明茂
二区	佐藤 大輔	憲一
石城弓岡	渡辺 健太	英雄
三区	國弘真理子	輝明
男山地区	仙石 和久	茂和
四区	岸本 紗織	健治
二区	志間 靖代	敏雄
一区	長谷川諒子	和男
男山地区	長尾 拓	洋二
吉井松里	浦川 幸子	和保
三区	吉村靖二郎	陽一
四区	赤井 章子	武司
四区	植村 儀平	貞樹
下区	中川 正美	正廣
男山地区	阪下 歩	憲男
六区	水瀬 武	敬美
吉井松里	幸津 麻弥	文雄
四区	山崎 貴晃	邦弘
戸津区	福田 容子	憲想
一区	大橋 梨花	和好
男山地区	乃村 靖子	洋右
竹園香呂	寺次 祐子	幸一
二区	上田 歩	正幸
二区	上田 亮介	正幸

結婚

区	夫	妻
一区	山口 隆廣	吉珍 淳
内里区	長村 千利	濱田知津子
戸津区	佐野 勝行	松尾 和子
竹園香呂	石橋 恒男	熊内 文子
二区	栗本 幸夫	武内 浩子
一区	森川 房一	平良 初子
三区	藤川 義隆	片木 博美
二区	石田 保之	加藤 春江
六区	内藤 一彦	松川久美子
二区	尾亀 大輔	安田 幸代
六区	窪田 勝男	上田美奈代
美濃山区	荒二井 元	吉元巴恵江
石城弓岡	松井 修二	佐藤美和子
三区	宮原 勝俊	杉山恵津子

上水道第5次拡張事業　上水道の安定供給をめざして



浄水場の建設が急ピッチで進められています

市の給水は、自己水源の科手浄水場、東部簡易水道、南部簡易水道と府営山城水道からの受水でまかなっています。

現施設の能力は24,810立方㍍ですが、人口の急増に伴って近く水の需要がこの施設能力を上回ることが予想され、将来にわたって安定した給水を行うために新たな水源確保が重要な課題となっていました。

市では、以上の状況に対処して昭和53年度から上水道第5次拡張計画に着手、昭和54年度から事業に着工しました。

着々と進む上水道拡張事業

内里地区南部に新たな水源を求めて

現在進めている上水道第五次拡張事業は、内里柿ケ谷及び美濃山狐谷にまたがる九千六千一平方㍍の敷地に浄水場を、美濃山野神の一千百平方㍍の敷地に配水池をそれぞれ新設し、またこれに付随して施工を進めている送配水管の布設工事と既設の月夜田受水場の送水ポンプ改良工事からなります。

それぞれの工事の概要は、次のとおりです。

【取水井工事】

内里柿ケ谷、美濃山狐谷にまたがる新浄水場の敷地には、二つの取水井のさく井を行なっています。

この井戸は試験井を兼ねるもので、ケーシング口径三五〇㍍で、深さは、一つが二百㍍、もう一つが二百五十㍍です。この一つの井戸からは、日量約一千五百立方㍍の取水を行う予定です。既に一つの取水井は、さく井を完了し、もう一つも完了間近かです。

【浄水場築造工事】

浄水場の規模は、公称能力が一日当り一万六千立方㍍を予定していますが、現在は先行投資をできるだけ少なく抑える方針で施設を築造しています。この概略は次のとおりです。

着水井……取水井から取水した原水が最初に到着するところで四十二立方㍍のものを築造しています。

薬注棟（薬注設備）……床面積七十五立方㍍の薬注棟には、次亜塩素酸ソーダ（鉄成分などの酸化と細菌の除去を行う）、ポリ塩化アルミニウム（酸化した浮遊物質などを凝縮し、粗大化させる）、苛性ソーダ（アルカリ性と酸性の調整剤として使用する）などの薬剤注入設備を設ける。

急速かくはん池……前掲の薬品を混ぜる池で、二十九立方㍍規模のものを築造します。この設備には、急速かくはん装置「フラッシュミキサー」一基を設置します。

フロック形成池……浮遊物をおだやかに粗大化させる池で、百五十立方㍍規模のものを二つ築造します。この設備には、緩速かくはん装置「フロキュレーター」四基を設置します。

沈でん池（汚泥引抜設備を含む）……浮遊物を沈でんさせる池で、四百四十八立方㍍規模のものを二つ築造します。この沈でん池の付随施設として排泥設備を設けます。

急速ろ過池……水をより清浄にするため、ろ過材を入れた層を通す池で、三十六立方㍍規模のものを四つと洗浄設備を設置します。この急速ろ過池のろ過速度は一日に四百二十㍍です。

浄水池……清浄になった水を貯水するための池で、七百十八立方㍍規模のものを築造します。

ポンプ棟（送水ポンプ）……ポンプ棟の床面積は四百九十七平方㍍で、将来、三ヵ所の配水池へ送水するポンプ各三台の計九台を設置しますが、現在は新低区配水池への送水ポンプ二台を設置します。

管理棟……床面積三百六十平方㍍の建物を建築します。この管理棟では、薬注量の比例注入、原水・浄水の水質測定、配水の監視と制御及び記録機器などを行います。

【配水池築造工事】

美濃山野神の敷地には、市東部地区等へ配水するため、三千五百立方㍍の配水池を築造しています。

【送配水管工事】

現上水道施設の能力を補うため、新浄水場から月夜田受水ポンプ場と新低区配水池間（府道富野荘八幡線・府道長尾八幡線・市道八幡城嶋線・市道戸津美濃山五号線）の四千九百十六㍍に鋳鉄製の送配水管（口径三五〇㍉㍍）を布設しています。

【送水ポンプの改良】

月夜田受水ポンプ場の送水能力の向上を図るため、現ポンプ能力（送水量＝一分間当り八・五立方㍍、揚程＝八十七㍍）を一分間当りの送水量を一四・二立方㍍、揚程九十五㍍に能力をあげるため、ポンプの入れ替えを行います。

上水道の加入金等を改定

昭和55年12月1日から実施

市では、水道の給水申込みに伴う加入金、施設整備費ならびに市開発指導綱による水道事業協力金を昭和五十五年十二月一日から改定を行います。

この改定は、現在進めている上水道第五次拡張事業の建設費を従来から水道を利用されている方々の負担にならないよう、新規に給水申込みをされる方で負担していただくものです。

改定後の加入金、施設整備費ならびに水道事業協力金は左上表のとおりです。

改定に伴い経過処置設ける

負担金の改定に伴うトラブルを防ぐため、施設整備費、水道事業協力金にそれぞれ経過処置を設けています。その経過処置は次のようなものです。

▼加入金について

一、昭和五十五年十二月一日に市が給水工事施工申込書を受け付けたものから改正した金額を適用します。ただし、建築確認申請が昭和五十五年十二月三十日までに確認通知されている場合は、改正前の金額とします。

二、昭和五十五年十二月一日時点で、すでに徴収している場合は、改正後の金額を適用しないものとします。

▼施設整備費及び水道事業協力金について

一、昭和五十五年十二月一日に市が給水工事施工申込書を受け付けたものから改正した金額を適用します。

二、昭和五十五年十二月一日時点で、すでに徴収しているものについては改正後の金額を適用しません。ただし、計画区画数または戸数等の増加分については、改正後の施設整備費および水道事業協力金を適用します。

三、開発等の場合で、昭和五十五年十二月一日時点において、すでに納入通知書等を発行済であるが未入金のものについては、給水協議案設後一年以内に納金された場合、改正前の取り扱いとします。承認後一年以上経過したものは改正後の取り扱いとなります。

四、開発等の行為に伴い、すでに市水道部において給水同意をしているもので、開発行為等の許可後四カ月以内に納金のあったものについては、改正前の取り扱いを行います。ただし、昭和五十五年十二月一日以前に開発行為等の許可のあったものは昭和五十五年十二月一日から四ヵ月以内とします。

四ヵ月を超え、給水協議承認後一年以内に納金のあったものは、改正後の金額から改正前と改正後の金額の差額の二分の一を減免します。

協議後一年以上経過したものは、改正後の取り扱いとします。

ただし、開発行為等の許可の不必要なものについては、開発許可の日を〝給水同意の日〟と読み替えるものとします。

五、文書および口答にかかわらず、昭和五十五年十二月一日時点で開発等に伴う協議中のものは、前記四の取り扱いに準じるものとします。なお、現在、口答で協議中のものについては、別途市が指定する日までに文書で協議書の提出を要するものとします。

一般家庭用として個人が行うもの

期日	単価 加入金	施設整備費	水道事業協力金	計
昭和55年12月1日から昭和56年3月31日まで	15万円	15万円	―	30万円
昭和56年4月1日以降	15万円	16万円	―	31万円

不動産の賃貸売買・宅地造成事業者等が行うもの

期日	単価 加入金	施設整備費	水道事業協力金	計
昭和55年12月1日から昭和56年3月31日まで	15万円	15万円	20万円	50万円
昭和56年4月1日以降	15万円	16万円	21万円	52万円

（注）この表は、いずれもメーター口径20ミリメートル以下の単価です。口径25ミリメートル以上については、流量比により金額の設定を行います。また、開発地内外に配水管の新設等が必要な場合は、この表に掲げる費用の他に開業業者で別途負担が必要です。

来年の夏には一部給水開始

この新しく設ける浄水場の公称能力は、一日最大給水量二万六千立方㍍を有し、現施設の二万四千八百十立方㍍と合わせると四万八百十立方㍍となります。これによって昭和六十五年ごろまでまかなえる予定です。

今年の夏の最大給水量は、冷夏のせいもあって二万三百三十立方㍍と比較的低い給水量にとどまりましたが、来年の夏は水不足を予想されます。市では、多くの水を必要とする来年の夏ごろまでには新施設の一部給水開始を行い、この解消に努めます。

新しい水源は、地下水によってまかなうこととし、そのため取水井を設け、浄水場や配水池を新しくつくり、送配水管を新設するなどの事業を現在進めています。

苦しい水道の台所

公共料金の値上げは、市民生活をたいへん圧迫することから、市では三年間にわたり水道料金の値上げを抑えてきました。

しかし、市の総給水量の七七・五㌫を占める府営山城水道の受水料が昭和五十四年四月一日から三四㌫値上げされたことによって、五十四年度の決算で三千七百万円の赤字になりました。また、今年四月には電力料金が四三・三六㌫値上げされ、赤字に拍車をかけています。

水道料金の引き上げを検討

このように、ふくれ上がる赤字を極力抑えるため、検針業務の嘱託職員化や内部努力を重ねてきました。また、拡張事業に必要な費用は、従来から水道を利用されている方々の負担にならないよう、新規に給水申込みをされる方の負担としていただくため、加入金、施設整備費、協力金の引き上げを行いましたが、現時点においては水道料金の引き上げなしに健全な水道財政を維持するのは、たいへん困難な状況にあります。

このため、市では水道料金の引き上げを検討、来年度には平均で約三〇㌫の引き上げが余儀なくされています。

このままですと、昭和五十五年度で約八千百万円の赤字となり五十六年度には約一億三千三百万円の赤字が見込まれます。

命の水の動脈、送配水管が道路に布設されています

火災・救急統計

	55／1～10累計	54／1～10累計
救急件数	1091	1000
搬送人員	1227	1055
火災件数	15	13

昭和54年度水道事業会計決算監査委員から審査報告

昭和五十四年度の八幡市水道事業会計決算に関する審査意見が、地方公営企業法第三〇条第二項の規定により市監査委員から報告されました。

その内容は、次のとおりです。

（金文）

▽決算書について

審査に付するために提出された昭和五十四年度八幡市水道事業会計決算報告書、八幡市水道事業損益計算書、同剰余金計算書、同欠損金処理計算書及び同貸借対照表は、地方公営企業法第三〇条第六項に定める諸規定に適合して調整されており、計数整理は誤りなく計算数値はすべて総勘定元帳及び補助帳簿、現有預金、負債に合致していることを確認した。

一　昭和五十四年度八幡市水道事業会計決算報告書について

① 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額六億一千八百五十三万円に対し、二・五㌫減少して五億四千七百二十六万二千円となり、五十三年度に比較して六百九十九万円の減少となっている。収益支出においては、予算額六億五千二百五十一万五千円に対し、一〇・四㌫減少して五億八千四百五十八万四千円となり、五十三年度より五千九百三十五万七千円増加している。この結果、経常利益は、三千七百三十一万二千円の収入不足となっている。

② 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額七億一千五十七万八千円に対し、九・二㌫減少して五億四千四百九十七万円となっているが、五十三年度に比較して五億四千三百六十四万一千円の増加となっている。また、資本的支出においては、予算額八億二千百五十九万円に対し、決算額は三・五㌫減少して六億二千八百五十八万五千円となっているが、五十三年度に比較すると五億七千三百四十七万円となっている。

③ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金八百六十二万二千円に資本剰余金を繰入れ、繰越欠損金は零と処理している。

④ 貸借対照表

ア　資産の部

固定資産は有形固定資産二十六億二千四百三十七万一千円、無形固定資産四万円及び投資一万円合わせて二十六億二千四百四十二万一千円となり、有形固定資産に対する減価償却は一億三千三百二十六万一千円行なっている。流動資産は年度末において現金預金四億六千三百六十四万四千円のほか、未収金貯蔵材料、仮払金があり、合わせて五億一千五百四十二万円となる。従って資産合計は、三十一億三千九百四十四万一千円となっている。

1　負債の部

負債は流動負債のみで、未払金、前受金及び預り金、合わせて一億四百八万二千円となっている。

2　資本の部

資本金は、自己資本金一千百八十一万一千円及び借入資本金、企業債十億六千八百五十三万円、合わせて十億八千三十四万一千円となっている。剰余金は、資本剰余金十億五千九百三十一万八千円及び利益剰余金三百九十万円、合わせて十九億五千五百四十一万八千円となり、資本合計は三十億三千五百七十五万九千円となっている。

▽決算附属書類について

審査に付するため提出された昭和五十四年度八幡市水道事業会計決算附属書類は、地方公営企業法第三〇条第一項に基づき、同法施行令第二十三条に定める諸規定に準拠して作成されており、決算書と同様内容は正確であり、数値は証憑書類と合致していることを確認した。

▽経営分析

人口増加はさらに進み、経営規模は本年度も拡大の傾向を示し、給水人口は年間二千百八十七人増加して六万一千四百九十八人、年間給水量も二十三万五千二百六十七立方㍍増加して五百七十五万二千二百九十二立方㍍となり、水道普及率も九六・一㌫となっている。経営成績は、決算書に述べたとおり三千七百三十二万二千円の赤字となっている。主な原因は、本年度給水量の七七・五㌫を占める京都府営山城水道の受水料金が十一円／立方㍍値上げされたことである。さらに、経営規模の拡大の割に受託工事収益の大幅な減少により、収益的収入が五十三年度よりも六百九十九万円減少したことである。その結果、収益的支出は、五千九百三十五万七千円増加した。このことは、公営企業としての宿命なのかもしれない。供給単価は七十九円九十銭となり、五十三年度より一円十四銭増加しているが、それに対する給水原価は十二円七十九銭増加して八十九円二十二銭となり、到底健全な運営とは考えられない。

▽総括

上水道事業を通じて、公共の福祉を増進するという目的に沿って運営された結果、水道普及率は九六・一㌫となり、一応の成果を見ることができたが、給水原価を下回る単価で供給を続けるということは、将来に向って企業の崩壊をもたらし、ひいては公共の福祉を増進するという法律の精神に違背することになろう。

人口増加はさらに進むと思われ経営規模もさらに拡大のすう勢をたどるとすれば、給水原価と供給単価のバランスのとれた健全な運営を図るための施策を総力を上げて樹立、実行されるよう希望するものである。

昭和五十五年七月十七日

八幡市監査委員　工藤　欣一
同　丸山　文雄

将来人口を予測し健全な水道事業の運営に努力を

八幡の歴史講座 ②

乱世のカギを握る要衝の地

―戦乱の歴史と八幡―

平安末期における武者の姿

この八幡の地を中心に、中世戦乱の歴史を分り返ってみると、そこには戦略上の要地としての八幡の価値が、合戦の型の変遷とともに変化していることがわかります。

◎源平の合戦と八幡

八幡が本格的な合戦に巻き込まれたのは、鎌倉時代末の元弘の変とそれに続く南北朝の争乱です。源平の合戦では、わずか二治承四年（一一八〇）五月の源頼政宇治合戦の時、上津屋石田神社が散陣となって、五月二十四日平家のため社殿などの他が灰燼に帰したことです。

この承知のように源平時代の合戦は、自費で参加した殿原（多くは荘園の荘官などの在地有力者）の騎馬による戦いですから主戦場は川原、海浜などで、渡河がうまくいくかどうかが勝敗の決め手でもありました。したがって、八幡のような湿田や泥田などの多い場所は不向きでした。それが、源平の合戦に際しても八幡近辺では宇治から奈良への道が多用された理由の一つでもあります。要は重い鎧を着け騎馬で駆ける場所が八幡には少なかったのです。

主戦場から少し離れた見張りのための散陣であったから可能であったのです。

◎雑兵の登場と戦術変化

鎌倉幕府滅亡にいたる元弘の乱では、例えば千早・赤坂城での楠正成の戦術などに見られるように、戦いは大勢が人海戦術で攻め寄せるか、少数でゲリラ戦術をとるか、いずれにしても徒歩で戦う兵隊が必要になります。

しかし指揮官や主だった武将はさらに広い場所で戦う場合は、騎馬の方が有利だったのであったからです。

◎八幡の戦略的価値

騎馬と雑兵を従え、特に京をうかがうには男山は絶好の場であった。唯独除でゆるが鳩ケ峯（一四二㍍）と男山（一二八㍍）によって形成された谷が多く、山道は急で山間に坊舎が多い。さらに山頂社殿前庭や周囲は陣地に適し、社頭は兵糧米などの貯蔵にも有利である。また武士の崇神である八幡宮に直接矢を向ける者も少ないなどと、多くの利点があります。

防御を考えても木津川・放生川・山下・山上と幾重もの防備線が考えられます。しかし南部からの攻撃に弱く、智としてよりも南部から京都を攻める前進基地としての価値の方が高いでしょう。また河内を合せると二万石近い兵糧米は、多数の兵を駐すための大きな要因でした。

つまり八幡の地は、兵糧米や雑兵、京との位置などから、中世の戦術上重要な要地でした。

◎戦乱に明け暮れた中世

乱世とも呼ばれ『愚管抄』で比叡山の座主慈円の言う「武者ノ世」として中世は合戦に明け暮れました。なかでも京都を中心とした戦いは長く続きました。

源三位頼政の挙兵を口火とする源平の合戦、鎌倉幕府滅亡へ、といなる元弘の変とそれに続く長い南北朝の争乱、さらに全国を争乱に巻き込んだ応仁・文明の大乱、全国的な統一がようやく完成に近づく山崎の合戦などと、そのいくつかを上げただけでも中世がいかに戦乱の時代であったかがわかります。

京の東の要衝を比叡山とすれば、八幡は西に対する要衝でした。現在でも八幡・山崎の地峡部は、東海道新幹線・名神高速道路をはじめ、国鉄・私鉄、さらに国道までもが、広く幅を取って悠々と流れる淀川の両側をひしめき合って通過しています。まさに西への大動脈の要となっています。

足利氏の紋である丸に二の字と新田氏の中黒という丸に太い一文字を、自分の紋印として始めてくると二本線を一本に太くしたお新田方についたのを負けは足利氏方についたのを負けは、武将の紋印として始めてくると二本線を一本に太くしたお新田方についた雑兵の行動があったからです。

◎八幡の戦略的価値

騎馬と雑兵を従え、特に京をうかがうには男山は絶好の場であった。唯独除でゆるが鳩ケ峯（一四二㍍）と男山（一二八㍍）によって形成された谷が多く、山道は急で山間に坊舎が多い。さらに山頂社殿前庭や周囲は陣地に適し、社頭は兵糧米などの貯蔵にも有利である。また武士の崇神である八幡宮に直接矢を向ける者も少ないなどと、多くの利点があります。

防御を考えても木津川・放生川・山下・山上と幾重もの防備線が考えられます。しかし南部からの攻撃に弱く、智としてよりも南部から京都を攻める前進基地としての価値の方が高いでしょう。また河内を合せると二万石近い兵糧米は、多数の兵を駐すための大きな要因でした。

つまり八幡の地は、兵糧米や雑兵、京との位置などから、中世の戦術上重要な要地でした。

おめでとうございます

出生

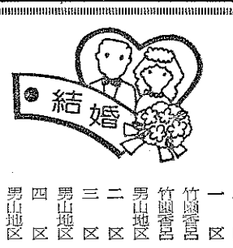
昭和55年9月届出分

区	本人	届出人
二区	倉田 幸絵	信幸
男山地区	山本 真義	敏博
金振区	矢野 智也	正敏
男山地区	鋤本 智	憲行
男山地区	尾畑 剛弘	泰男
竹園香呂	熊谷 元	丁
石城弓岡	筱原実希子	健
金振区	荒生 誠治	実
竹園香呂	原口 俊行	一則
二区	別府 優一	守三
四区	山崎 幸子	勝一
三区	吉田 貴士	優
三区	内藤 充人	翠
六区	山崎 潤	和義
竹園香呂	鈴木 良平	永祐
竹園香呂	森田 知徒	僧明
吉井松里	安田 智彦	金久
四区	二木 貴也	久雄
四区	糸川 幸子	幸雄
男山地区	三宮麗友昭	剛
石城弓岡	田中 雄一	勝義
金振区	満田千穂美	利夫
男山地区	上田 哲三	寛臣
吉井松里	正木 聖子	茂行
男山地区	大竹 崇	秀夫
石城弓岡	井上 舞	修一
男山地区	山本 真紀	真
竹園香呂	森 紘一	津雄
吉井松里	本塚 美華	勝則
内里区	北村奈都紀	勝巳
五区	三上 朝子	泰之
三区	川内 麻理	正行
六区	岩崎恵三子	昭一
一区	星川 奈穂	郁夫
四区	西上 淳子	正道
一区	佐藤 由梨	武記
石城弓岡	川島 雅央	利夫
二区	鳴神 潤	謙一
石城弓岡	笹田 光幸	好英
石城弓岡	泰中 三喜	光作
男山地区	今井 真理	長雄
男山地区	大村 健二	政昭
二区	坪内 文典	洋
竹園香呂	神野 勇介	義文
石城弓岡	平岡友紀子	仲二
男山地区	岡井 貴則	良夫
竹園香呂	真篠 晋也	正昭
一区	西村 昌美	武義
五区	川人 弘一	謙
六区	野田 岳洋	登
石城弓岡	斎藤 泰弘	栄次
五区	木村 知子	善久
二区	山本 智子	正義
二区	高木 裕華	正彦
竹園香呂	中谷 治世	鯉夫
四区	鶴岡 典子	篤治
金振区	吉武 謙一	信彰
男山地区	田中佐生子	信昭
三区	松林真由美	利和
竹園香呂	宮本 知明	正明
三区	鎌輪 剛	耕造
男山地区	小川 雅浩	隆晃
竹園香呂	庄八	庄八
吉井松里	三郎	三郎

6月届出分

区	夫	妻
二区	鈴木 康孝	恭岡 玉江
二区	藤田 英夫	吉田久美子
一区	家弓 真明	増和 晴美
竹園香呂	片岡 義博	小川 節子
竹園香呂	葉原 廣夫	田村 照子
男山地区	山口 健彦	池上 智子
二区	渡辺 孝一	森 麗子
三区	竹中 俊明	川下みづえ
男山地区	瀬野 忠一	金竹 千春
四区	鈴木 茂	村田美智子
男山地区	栗谷川照雄	河田 和子
男山地区	島村 準	戎家 宏美
竹園香呂	平井 景次	長谷川智子
竹園香呂	平井 正樹	小野みゆみ

結婚



愛老会 長寿をお祝い 敬老会

歌・演芸で楽しいひとときを

広い会場は爆笑のうず…お顔に刻まれたシワも、このときばかりはのびる思い（敬老会で）

楽しい演芸に拍手をおくるお年寄りのみなさん（愛老会で）

愛老会

市と市社会福祉協議会では、各民生や地区婦人会、一路会の協力を得て、お年寄りの長寿と健康をお祝いするつどいを催しました。

ふだん、顔を合わせる機会の少ないお年寄りのみなさんは、「今年も元気でお会いできましたね」と、世間話に花をさかせたり、演芸を楽しんだりして楽しい一日を過ごされました。

十月十二日、八幡第三小学校体育館を会場に「愛老会」を開催しました。

愛老会は、数え年七十歳から七十五歳までのお年寄りを招いて隔催したもので、市内の対象者は男性五百二十二人、女性六百九十八人の計一千二百二十八人で、一昨年と比べると百三十五人の増となっています。

出席されたみなさんは、西村市長をはじめ、来賓の方々から〝いつまでも元気で、長生きをしてください〟と長寿のお祝いのことばを受けられました。

このあと、催された歌や踊りで参加されたお年寄りは楽しいひとときを過ごされました。

敬老会

十月十九日には、数え年七十五歳以上のお年寄りを招いて、「敬老会」を開催しました。

この敬老会の対象者は、男性四百四十四人、女性六百八十四人の計一千百二十八人と比べると百八十七人の増となっています。

敬老会が行われた当日は、朝からのあいにくの雨模様でしたが、年に一度のこの催しを楽しみにされているお年寄りで、催しが始まる午前十一時には広い第三小学校体育館はいっぱいになりました。

長寿を祝っての記念品贈呈式では、家村ヨネさん（戸津）をはじめ、米寿を迎えられた十八人のお年寄りに、府知事から来寿の記念品が贈られました。また市からは、山田良蔵さん（八幡山本）のほか、四十六人のお年寄りに数え年八十五歳のお祝いとして肖像写真と座ぶとんを、また、最高齢者男女各十人に長寿トロフィ、敬老祝金を贈って長寿をお祝いしました。

記念の座ぶとんを贈られた野津ハマヨさん（四区）は、「長生きして、このように市からお祝いをしていただき、本当にうれしいことです。そして、もうひとつうれしいことは、家族が私と一緒に住んでくれて大事にしてくれることです」と喜びをかみしめておられました。

敬老会に出席されたみなさんは、このあと昼食をはさんで催された演芸で、心ゆくまで楽しんでおられました。

男性最高齢者の家村貞次郎さん

「健康には特に気を付けていないが……」と健康方法についての質問に答えられた家村さんは、明治十九年生まれの九十五歳。（数え年）

歯が悪くなってから好きなものが食べられなくなったそうですが、タバコだけは手ばなせないともおっしゃっていました。体に気をつけて、長生きをしてください。

女性最高齢者の谷タニさん

谷さんは、明治十七年生まれの九十七歳（数え年）で、男女を通じての最高齢者。

陽のよくあたる縁側で陽なたぼっこ中の谷さん。〝今一番の楽しみは……〟との質問に、ひい孫の修介君といっしょになって遊ぶこと――という元気なおばあさん。いつまでもお元気で、長生きをしてください。

長寿ベストテン

男性

家村貞次郎	95歳（川口）
長村伊之助	95歳（内里）
家村　保三	90歳（戸津）
堀池弥三郎	90歳（三区）
長村　保蔵	90歳（内里）
内藤重次郎	89歳（6区）
坂岡　与平	89歳（5区）
福山　朝良	89歳（2区）
林　敬道	89歳（中区）
安田角次郎	88歳（内里）

女性

谷　タニ	97歳（2区）
松田　ノブ	96歳（4区）
木村　タキ	95歳（内里）
森田　ヤエ	95歳（中区）
江守　トヨ	95歳（上区）
平田コブサ	94歳（4区）
小林　シノ	93歳（6区）
立村　ハナ	93歳（1区）
関西ナツエ	93歳（下区）
福田　ナミ	93歳（戸津）

数え年

<敬称略>

愛老会

十月十二日、八幡第三小学校体育館を会場に「愛老会」を開催しました。

愛老会は、数え年七十歳から七十五歳までのお年寄りを招いて隔催したもので、市内の対象者は男性五百二十二人、女性六百九十八人で、一昨年と比べると百三十五人の増となっています。

出席されたみなさんは、西村市長をはじめ、来賓の方々から〝いつまでも元気で、長生きをしてください〟と長寿のお祝いのことばを受けられました。

このあと、催された歌や踊りで参加されたお年寄りは楽しいひとときを過ごされました。

敬老会

十月十九日には、数え年七十五歳以上のお年寄りを招いて、「敬老会」を開催しました。

この敬老会の対象者は、男性四百四十四人、女性六百八十四人の計一千百二十八人と比べると百八十七人の増となっています。

敬老会が行われた当日は、朝からのあいにくの雨模様でしたが、年に一度のこの催しを楽しみにされているお年寄りで、催しが始まる午前十一時には広い第三小学校体育館はいっぱいになりました。

長寿を祝っての記念品贈呈式では、家村ヨネさん（戸津）をはじめ、米寿を迎えられた十八人のお年寄りに、府知事から来寿の記念品が贈られました。また市からは、山田良蔵さん（八幡山本）のほか、四十六人のお年寄りに数え年八十五歳のお祝いとして肖像写真と座ぶとんを、また、最高齢者男女各十人に長寿トロフィ、敬老祝金を贈って長寿をお祝いしました。

記念の座ぶとんを贈られた野津ハマヨさん（四区）は、「長生きして、このように市からお祝いをしていただき、本当にうれしいことです。そして、もうひとつうれしいことは、家族が私と一緒に住んでくれて大事にしてくれることです」と喜びをかみしめておられました。

敬老会に出席されたみなさんは、このあと昼食をはさんで催された演芸で、心ゆくまで楽しんでおられました。

男性最高齢者の家村貞次郎さん

「健康には特に気を付けていないが……」と健康方法についての質問に答えられた家村さんは、明治十九年生まれの九十五歳。（数え年）

歯が悪くなってから好きなものが食べられなくなったそうですが、タバコだけは手ばなせないともおっしゃっていました。体に気をつけて、長生きをしてください。

女性最高齢者の谷タニさん

谷さんは、明治十七年生まれの九十七歳（数え年）で、男女を通じての最高齢者。

陽のよくあたる縁側で陽なたぼっこ中の谷さん。〝今一番の楽しみは……〟との質問に、ひい孫の修介君といっしょになって遊ぶこと――という元気なおばあさん。いつまでもお元気で、長生きをしてください。

これからもおげんきで

男山八望2　C16―501
福井　優ちゃん
54年6月25日生・お母さん節子さん

赤ちゃん

お母さんになって一番困ることは、赤ちゃんをおふろに入れることのようです。しかし、お母さんがビクビクしていると、赤ちゃんまでが不安を感じてしまいます。

赤ちゃんの入浴の目的は、暖まることが清潔に保つことにあります。おふろに入れてあげるときは沐浴布でくるんであげます。また、赤ちゃんが気持ちがよくなって排便したときも、沐浴布さえ当てていれば、慌ですに思うのか、とても不安になるのです。赤ちゃんを裸にしたらタオルで背後から手足を優しく支えてあげましょう。お湯の温度は夏三十八度C、冬四十度C、室温二十度C位が理想的。

赤ちゃんは、おふろに入れてくれる人に強い愛情を感じます。お母さん、そんなに緊張しないで赤ちゃんをおふろに入れてあげてください。

こわがらないで入れて

赤ちゃんのおふろ

うにくるんであげると、赤ちゃんはとても気持ちが落ち着きます。

浴布さえ当てていれば、慌ですにすみます。

入浴は、授乳後一時間から一時間半ぐらい経過してからにしましょう。お湯の温度は夏三十八度C、冬四十度C、室温二十度C位が理想的。

お母さん、そんなに緊張しないで赤ちゃんをおふろに入れてあげてください。

文芸の窓

菊日和　薩摩つなし　坊の廊　池田　久枝

山の端に　紅一筆の　秋の霽　〃　石塚　悦子

丹精の　菊ほころびし　今朝の秋　福井　清子

八幡俳句教室から

大きなおイモが取れたよ！

市内各保育園・幼稚園

子どもたちに収穫の喜びを――と、市内各保育園・幼稚園では、実りの秋を迎えてイモ掘りの行事に取り組みました。

この行事は、園庭の一角を利用して作った畑で実施した園や岩田・川口地区の観光イモ園に出かけて実施した園などさまざまですが、園児にとって心に残る楽しい催しとなりました。

市立八幡第三附属幼稚園のイモ掘り大会は、好天に恵まれた十月二十二日に行われました。

同園では、今年八月に園庭の一角を利用して畑百三十本を定植、以来、園児たちが水や肥料を施して大切に育ててきました。

そしてこの日、百十人の園児が一人、株すつ割り当てられ、二代目しあわせ号は、翌日から巡回、寝たきりのお年寄りなどから喜ばれています。

また、十月七日には市社会福祉協議会へライトバンの寄贈を受けました。このライトバンは、八幡清水井の身体障害者自立生産館「八幡共同作業所」に配置、故紙や空ビンの回収などの作業に使用することになっています。

「こんな大きなおいも、すごいでしょう」ジャンボイモの収穫に園児たちは得意顔（八幡第3小附属幼稚園で）

寄贈

綴喜ライオンズクラブ（山本来太郎会長）では、同ライオンズクラブの創設十五周年を記念して、本市と綴喜三町（田辺・井手・宇治田原）で組織する綴喜運絡協議会に移動入浴車を、また本市社会福祉協議会へ六人乗りライトバンを寄贈されました。

移動入浴車は、昭和五十年十月に同ライオンズクラブから寄贈を受けて、寝たきりのお年寄りや身障者などの家三十三件を巡回していますが、最近は車の傷みがひどく、運行に支障をきたすおそれがでていました。このため、同ライオンズクラブから二台目の移動入浴車「しあわせ号」の寄贈を受けることになったものです。

新しい車は、中型ライトバンを改造し、長さ一・九㍍、幅七十五㌢、深さ四十㌢の浴そうをはじめ、水タンク、燃料タンクなどを装備しています。また旧型車と変って燃料がプロパンから灯油になり、お湯の温度が調節可能、湯わかし器具が装備されたほか、乗車定員も三人から四人になるなど、改良が施されています。

九月八日、同ライオンズクラブの山本会長から引渡しが行われた二代目しあわせ号は、翌日から巡回、寝たきりのお年寄りなどから喜ばれています。

寄附

伏見信用金庫八幡支店（河本兼宛支店長）では「地域に役立てる催しを」と、電化製品や日用品、手づくり作品のチャリティーバザールを開催。七月二十二日、この売上金十七万三千二百六十円を市に寄附されました。

また、十月十六日、勝代鎔断株式会社（川口東原九一一）の代表取締役勝代謙氏より「身体障害者のために役立てください」と、三十万円の寄附がありました。

市では、この浄財を福祉基金に積み立て、寄附をいただいた方々の二意志にそって役立てたいと存じます。ありがとうございました。

市民のひろば

まちのわだい

短信

☆ボランティアを求めています！

八幡共同作業所

心身障害者福祉にあなたの力をおかしください。

心身障害者の自立更生施設「八幡共同作業所」では、心のかよう福祉のまちづくりを進めるため、福祉に理解のある方の協力を求めています。あなたのできることでお手伝いください。

連絡先　八幡共同作業所☎九八二―五一三六

☆主婦の食生活と栄養を考えよう

連合婦人会が学習会

家庭の台所をあずかる主婦は家族に対する栄養バランスについて気を配っていますが、意外と自分の食事や健康については無関心なもの。このため、貧血などの潜在的な病気が多いといわれています。

市連合婦人会と市教育委員会では、〝主婦自身も健康な毎日を送るため食生活を見直そう〟と、映画と学習会を開催しています。

お誘い合わせのうえ、多数お越しください。なお、参加は無料です。

次回の学習会は

日時　十一月二十七日（木）午後十時～十二時

場所　市役所四階大会議室

講演テーマ　健康な食生活

講師　高井君江氏（栄養士）

上映映画　健康と栄養

☆風呂の修理時には公衆浴場を！

市内の四公衆浴場

これから寒い季節を迎えるにあたって、風呂は欠かせないもののひとつです。しかし、修理等によって、風呂に入れないのは困ったものです。

このようなときは、市内に次の四つの公衆浴場があります。せいぜいご利用ください。

▽八幡温泉　八幡馬場四一
▽清水湯　八幡十井一〇二
▽橋本湯　橋本小金川三六
▽旭湯　橋本北ノ町三六

（順不同）

投稿

西山和気　稲垣　勝さん

「月々に変りゆく八幡市を知るために〝広報やわた〟はかかせません……」といわれる稲垣さん。

稲垣さんから短歌の投稿がありましたのでその一部を紹介します。

誰れ彼れと見るもなつかしいとこ会昔の姿蘇りくる

木蘭（もくせい）の香り漂う山科の古寺を訪ぬる足も軽やか

ガスもれに注意

ガス洩れ……それは悲惨な事故のひとつです。ガス臭い――どこからともなくガスの臭いがする――こん体験をされた方は少なくないと思います。市内では、都市ガスの成分が天然ガスに切換えが行われ、その火力も以前の約二・五倍になりました。プロパンガスは、さらに二倍の火力をもっています。このことからガス洩れがひとたび起ると大惨事を招く危険性をはらんでいます。

もし、ガス洩れに気づいたときは、▽たちにガスの元栓を締める▽一切の火気使用を中止する▽消防署へ一一九番通報する▽近所に知らせるなどの処置をして消防署の到着を待ち、以後は消防署の指示に従いましょう。

11月26日～12月2日

秋の全国火災予防運動

調停委員に

島田稔氏

この三月で調停委員の長村喜一氏が退任されました。長い間ごくろうさまでした。

代ってこの四月から島田稔氏（綴本北ノ町二八☎九八一―〇五二八）が就任されました。小泉泰雄氏（八幡高坊一〇☎九八一―〇六四五）ともに調停の相談に応じています。民事上のもめごとでお困りのときは、両調停委員にご相談ください。相談は無料。

エジソン白熱電球実用化百年記念展

11/20～11/30・市役所1階ロビー

一八七九年一〇月二一日、発明王エジソン（一八四七～一九三一）は、綿糸をフィラメントに使って白熱電球を発明しました。しかし、わずか四十時間余りしか点灯できず、そこでエジソンは電球の実用化にあたって、その生命といえるフィラメントに使用する材料を世界各地に探し求めました。

こうして集められたフィラメントの材料の竹は六千種類以上を数え、いろいろな実験が繰りかえされるなか、エジソンの助手ウイリアム・H・ムーアが当時の京都府知事のあっせんで手に入れた八幡の男山山頂の真竹がフィラメントに最適とわかりました。

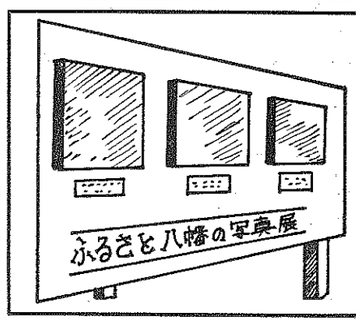
エジソンが綿糸を使って白熱電球を発明した翌年の一八八〇年、八幡の竹を使って〝世紀の光〟をみごと実用化に成功したのです。

その後、セルロースのフィラメントが開発されるまでの間、八幡の竹がエジソン電灯会社に輸出され、何百万個もの馬蹄形フィラメントの白熱電球が生産されました。

今年は、エジソンが八幡の竹を使って白熱電球の実用化に成功してからちょうど百年になります。

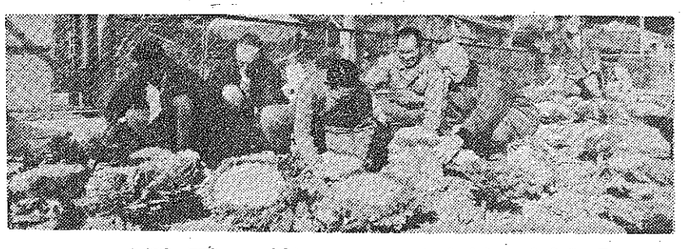
市ではこれを記念して、市や市民の方々が持っておられる資料等の展示を行います。

第1回ふるさと八幡の写真展



展示期間　11月10日～11月22日

展示場所　市役所1階ロビーで



お正月用の葉ぼたん予約受付中

八幡市老人クラブ連合会花いっぱい実行委員会

八老連花いっぱい実行委員会では、まちを花でいっぱいにする取り組みのひとつとして、今年も正月用の葉ぼたんの申し込みを受け付けています。希望の方は11月15日までに次の役員までご連絡ください。

連絡先　▶1・6区地区＝石井正三☎981―0762　▶男山地区＝吉川忠吉☎981―0884　▶3・4・5区地区＝水谷正三郎☎981―0408　▶上・中・下区地区＝西田清秋☎981―1166　▶内里・戸津・美濃山地区＝北村吉次☎981―1461　**引渡し日と場所**　▶12月10～11日　八幡大芝の石井正三農場（八寿園東）　▶12月12日　三区念仏寺横の児童公園　※時間は午前9時から午後4時まで